



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月14日

上場会社名	広栄化学工業株式会社	上場取引所	東
コード番号	4367	URL	https://www.koeichem.com/
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)	岡本 敬彦
問合せ先責任者	(役職名)理事経営室長	(氏名)	浜辺 昭彦
定時株主総会開催予定日	2020年6月26日	配当支払開始予定日	2020年6月2日
有価証券報告書提出予定日	2020年6月26日		
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	18,528	1.2	1,854	58.6	2,016	48.1	1,568	63.2
2019年3月期	18,309	0.9	1,169	△23.4	1,361	△20.1	960	△82.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	320.60	—	7.6	6.8	10.0
2019年3月期	196.45	—	4.9	4.7	6.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	29,802	20,997	70.5	4,292.82
2019年3月期	29,323	20,131	68.7	4,115.69

(参考) 自己資本 2020年3月期 20,997百万円 2019年3月期 20,131百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	776	△2,230	△280	688
2019年3月期	729	△2,459	△303	2,424

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	293	30.5	1.5
2020年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00	391	25.0	1.9
2021年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		—	

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,200	△0.6	700	△18.2	750	△17.3	750	20.3	153.34
通期	19,500	5.2	1,500	△19.1	1,600	△20.7	1,700	8.4	347.56

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	4,900,000 株	2019年3月期	4,900,000 株
2020年3月期	8,754 株	2019年3月期	8,505 株
2020年3月期	4,891,362 株	2019年3月期	4,891,521 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件その他の関連する事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 貸借対照表	P. 5
(2) 損益計算書	P. 7
(3) 株主資本等変動計算書	P. 9
(4) キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(表示方法の変更)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
(1株当たり情報)	P. 14
(重要な後発事象)	P. 14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度のが国経済は、中国経済を中心とした海外経済の減速を背景に輸出が減少する中、自然災害や消費税率の引上げなどの影響により個人消費や設備投資が減少するなど、不透明な状況で推移してきました。更に今年に入ってから、世界的に広がる新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、インバウンドの減少や国内消費の急激な落ち込みが見られるなど、景気の減速懸念は一層高まる状況となりました。

当社製品関連分野におきましては、ファイン製品関係は触媒関連製品需要が伸び悩んだものの、医農薬中間体需要は堅調に推移しました。化成品関係では国内関連需要が低迷いたしました。

このような情勢のもとで、当社は、売価是正、拡販に取り組むとともに、安全・安定操業によるコスト削減などに注力し、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当事業年度の売上高は前事業年度に比べ微増の185億28百万円（前事業年度比1.2%増収）となりました。利益面におきましては、原料コスト低下に加え、新製品の販売増加などにより、営業利益は18億54百万円（前事業年度比58.6%増益）、経常利益は20億16百万円（前事業年度比48.1%増益）となりました。当期純利益につきましては、株式売却による特別利益2億39百万円、また設備撤去費用など1億56百万円を特別損失にそれぞれ計上した結果、15億68百万円（前事業年度比63.2%増益）となりました。

(部門別売上高)

(単位：百万円)

部門	製品グループ	前事業年度		当事業年度		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
ファイン製品部門			%		%		%
	医農薬関連化学品	6,119	33.4	6,507	35.1	388	6.3
	機能性化学品	6,253	34.1	6,394	34.5	140	2.3
	その他	2,007	11.0	2,202	11.9	195	9.7
	計	14,380	78.5	15,104	81.5	724	5.0
化成品部門	多価アルコール類	3,172	17.3	2,739	14.8	△433	△13.7
	その他	756	4.2	684	3.7	△71	△9.5
	計	3,928	21.5	3,423	18.5	△504	△12.8
	合計	18,309	100.0	18,528	100.0	219	1.2

セグメントの状況は、次のとおりであります。

(ファイン製品部門)

医農薬関連化学品は、医薬中間体や農薬関連製品の販売が堅調に推移し増収となりました。機能性化学品は触媒関連製品が伸び悩みましたが、光学材料関連製品などの新製品の販売が寄与し増収となりました。その他ファイン製品は樹脂関連製品の販売が増加しました。

この結果、当部門の売上高は151億4百万円(前事業年度比5.0%増)、営業利益は18億46百万円(前事業年度比53.5%増)となりました。

(化成品部門)

多価アルコール類は、国内関連需要の大幅な減退に加え、原料価格下落に伴う売価低下により減収となりました。その他化成品も低調に推移しました。利益面においては、減損による固定費負担の減少により改善しました。

この結果、当部門の売上高は34億23百万円(前事業年度比12.8%減)、営業利益は8百万円(前事業年度は33百万円の損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、たな卸資産が増加しましたが、設備投資需要増加による預け金減少などにより、前事業年度末に比べほぼ横ばいの137億70百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の売却などによる減少がありましたが、ファイン製品製造設備の増強などにより、前事業年度末に比べ4億41百万円増加の160億31百万円となりました。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ4億79百万円増加の298億2百万円となりました。

(負債)

流動負債は、未払法人税等が増加しましたが、買掛金の減少により、前事業年度末に比べ1億92百万円減少し、60億80百万円となりました。

固定負債は、保有株式の時価評価に係る繰延税金負債の減少などにより、前事業年度末に比べ1億93百万円減少し、27億24百万円となりました。

この結果、負債合計は88億5百万円となり、前事業年度末に比べ3億86百万円減少しました。

(純資産)

純資産は209億97百万円となり、前事業年度末に比べ8億65百万円増加しました。自己資本比率は前事業年度末の68.7%から70.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益を21億円、減価償却費を14億32百万円計上しましたが、たな卸資産の増加、仕入債務など運転資金の減少により、7億76百万円の収入(前事業年度は7億29百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、ファイン製品製造設備増強など固定資産の取得による支出により、22億30百万円の支出(前事業年度は24億59百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券売却による収入などがありましたが、配当金の支払などにより、2億80百万円の支出(前事業年度は3億3百万円の支出)となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は6億88百万円となり、前事業年度末に比べ17億35百万円減少しました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	68.7	70.5
時価ベースの自己資本比率(%)	27.4	25.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	144.0	136.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	133.1	156.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が経済・社会活動において深刻さを増しており、また、世界経済にも景気後退懸念が強まるなど、国内外の経営環境は厳しさを増していくことが予想されます。

このような状況におきまして、当社は引き続き売価是正、拡販に取り組み収益の確保を図るとともに、中期経営計画を着実に実行し、事業環境に左右されない強い事業基盤をもった会社を目指してまいります。

次期の業績見通しとしまして、売上高195億円(前事業年度比5.2%増)、営業利益15億円(前事業年度比19.1%減)、経常利益16億円(前事業年度比20.7%減)、当期純利益17億円(前事業年度比8.4%増)を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

他企業及び過去との比較可能性を確保するため、当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)に基づいて作成しております。

なお、国際財務報告基準(I F R S)の適用につきましては、国内外の情勢を注視し、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	174	288
売掛金	5,285	5,419
商品及び製品	3,182	4,413
仕掛品	1,131	1,330
原材料及び貯蔵品	1,292	1,555
前渡金	14	—
前払費用	25	29
預け金	2,250	400
その他	376	334
流動資産合計	13,733	13,770
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,960	5,916
構築物（純額）	1,050	1,303
機械及び装置（純額）	3,332	4,478
車両運搬具（純額）	13	3
工具、器具及び備品（純額）	341	377
土地	39	29
建設仮勘定	1,803	1,483
有形固定資産合計	12,540	13,592
無形固定資産		
ソフトウェア	85	159
施設利用権	4	4
無形固定資産	90	163
投資その他の資産		
投資有価証券	2,185	1,591
関係会社株式	33	—
長期前払費用	77	61
差入保証金	647	601
その他	18	24
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	2,958	2,274
固定資産合計	15,589	16,031
資産合計	29,323	29,802

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,469	2,660
短期借入金	830	850
リース債務	6	0
未払金	698	950
未払費用	0	0
未払法人税等	241	572
前受金	4	7
賞与引当金	146	155
設備撤去引当金	30	153
受注損失引当金	—	28
預り金	74	18
設備関係未払金	770	682
その他	1	—
流動負債合計	6,273	6,080
固定負債		
リース債務	1	0
退職給付引当金	1,802	1,869
受注損失引当金	—	21
長期預り金	186	206
繰延税金負債	887	586
その他	40	40
固定負債合計	2,918	2,724
負債合計	9,191	8,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金		
資本準備金	1,551	1,551
資本剰余金合計	1,551	1,551
利益剰余金		
利益準備金	341	341
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	2,267	2,175
別途積立金	10,402	10,402
繰越利益剰余金	1,825	3,192
利益剰余金合計	14,836	16,111
自己株式	△13	△13
株主資本合計	18,717	19,991
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,414	1,005
評価・換算差額等合計	1,414	1,005
純資産合計	20,131	20,997
負債純資産合計	29,323	29,802

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
製品売上高	13,400	14,390
商品売上高	4,908	4,137
売上高合計	18,309	18,528
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	2,830	3,182
当期商品仕入高	4,083	3,419
当期製品製造原価	10,621	11,450
合計	17,536	18,053
他勘定振替高	29	12
商品及び製品期末たな卸高	3,182	4,413
売上原価合計	14,324	13,627
売上総利益	3,984	4,901
販売費及び一般管理費		
発送費	340	357
保管費	46	83
役員報酬	183	201
給料手当及び賞与	577	578
賞与引当金繰入額	42	46
法定福利及び厚生費	130	133
退職給付費用	66	68
交際費	28	28
旅費及び交通費	66	70
通信費	22	22
租税公課	68	83
減価償却費	34	47
賃借料	75	76
雑費	282	328
試験研究費	849	922
販売費及び一般管理費合計	2,815	3,046
営業利益	1,169	1,854
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	53	55
受取補償金	180	170
為替差益	44	—
雑収入	10	6
営業外収益合計	291	233
営業外費用		
支払利息	5	5
固定資産除却損	79	38
設備撤去引当金繰入額	—	18
為替差損	—	4
雑損失	14	5
営業外費用合計	99	72
経常利益	1,361	2,016

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	—	239
設備停止引当金戻入額	14	—
特別利益合計	14	239
特別損失		
設備撤去引当金繰入額	—	125
固定資産除却損	—	15
減損損失	104	15
特別損失合計	104	156
税引前当期純利益	1,271	2,100
法人税、住民税及び事業税	271	653
法人税等調整額	39	△121
法人税等合計	310	531
当期純利益	960	1,568

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2018年4月1日至2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				
					固定資産圧縮積立金	固定資産圧縮特別勘定積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	2,343	1,551	1,551	341	2,234	158	6,902	4,532	14,169
当期変動額									
剰余金の配当								△293	△293
固定資産圧縮積立金の取崩					△87			87	—
固定資産圧縮積立金の積立					120			△120	—
固定資産圧縮特別勘定積立金の取崩						△158		158	—
別途積立金の積立							3,500	△3,500	—
当期純利益								960	960
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	32	△158	3,500	△2,707	667
当期末残高	2,343	1,551	1,551	341	2,267	—	10,402	1,825	14,836

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△13	18,049	1,411	1,411	19,460
当期変動額					
剰余金の配当		△293			△293
固定資産圧縮積立金の取崩		—			—
固定資産圧縮積立金の積立		—			—
固定資産圧縮特別勘定積立金の取崩		—			—
別途積立金の積立		—			—
当期純利益		960			960
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			3	3	3
当期変動額合計	△0	667	3	3	670
当期末残高	△13	18,717	1,414	1,414	20,131

当事業年度(自2019年4月1日至2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				
				固定資産圧 縮積立金	固定資産圧 縮特別勘定 積立金	別途積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	2,343	1,551	1,551	341	2,267	—	10,402	1,825	14,836
当期変動額									
剰余金の配当								△293	△293
固定資産圧縮積立金の取崩					△92			92	—
固定資産圧縮積立金の積立									—
固定資産圧縮特別勘定積立金の取崩									—
別途積立金の積立									—
当期純利益								1,568	1,568
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	△92	—	—	1,367	1,274
当期末残高	2,343	1,551	1,551	341	2,175	—	10,402	3,192	16,111

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△13	18,717	1,414	1,414	20,131
当期変動額					
剰余金の配当		△293			△293
固定資産圧縮積立金の取崩		—			—
固定資産圧縮積立金の積立		—			—
固定資産圧縮特別勘定積立金の取崩		—			—
別途積立金の積立		—			—
当期純利益		1,568			1,568
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△408	△408	△408
当期変動額合計	△0	1,274	△408	△408	865
当期末残高	△13	19,991	1,005	1,005	20,997

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,271	2,100
減価償却費	1,279	1,432
有形固定資産除却損	79	54
減損損失	104	15
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△239
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19	67
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	9
設備撤去引当金の増減額(△は減少)	—	123
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	49
設備停止引当金の増減額(△は減少)	△323	—
受取利息及び受取配当金	△55	△56
受取補償金	△180	△170
支払利息	5	5
売上債権の増減額(△は増加)	25	△133
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,042	△1,692
仕入債務の増減額(△は減少)	629	△809
未収消費税等の増減額(△は増加)	223	26
その他	△44	278
小計	2,003	1,059
利息及び配当金の受取額	55	56
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△1,323	△334
営業活動によるキャッシュ・フロー	729	776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,418	△2,585
有形固定資産の売却による収入	—	18
無形固定資産の取得による支出	△70	△111
投資有価証券の売却による収入	—	245
子会社の清算による収入	—	33
その他	29	168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,459	△2,230
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	20
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9	△6
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△293	△293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△303	△280
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,035	△1,735
現金及び現金同等物の期首残高	4,460	2,424
現金及び現金同等物の期末残高	2,424	688

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(貸借対照表関係)

前事業年度において、「流動負債」の「その他」に含めていた「設備撤去引当金」は、金額の重要性が増したため、当事業年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度において、「流動負債」の「その他」に表示していた30,053千円は、「設備撤去引当金」として組替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の種類、製造方法、販売市場の類似性等により、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社は製品の種類、製造方法、販売市場の類似性等を基礎とした製品群別のセグメントから構成されており、「ファイン製品部門」、「化成品部門」を報告セグメントとしております。

「ファイン製品部門」は医農薬関連化学品、機能性化学品及びその他ファイン製品を製造・販売しております。「化成品部門」は、多価アルコール類リセール、その他化成品を製造並びに販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	ファイン製品部門	化成品部門	
売上高			
外部顧客への売上高	14,380	3,928	18,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	14,380	3,928	18,309
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,203	△33	1,169
セグメント資産	22,658	1,603	24,262
その他の項目			
減価償却費	1,202	41	1,244
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,565	52	2,617

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	ファイン製品部門	化成品部門	
売上高			
外部顧客への売上高	15,104	3,423	18,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	15,104	3,423	18,528
セグメント利益	1,846	8	1,854
セグメント資産	25,894	1,154	27,049
その他の項目			
減価償却費	1,366	19	1,385
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,440	38	2,479

4 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	24,262	27,049
全社資産 (注)	5,061	2,753
財務諸表の資産合計	29,323	29,802

(注) 全社資産の主なものは、当社の余資（現金及び預金、預け金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額 (注)		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	1,244	1,385	34	47	1,279	1,432
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,617	2,479	62	129	2,680	2,608

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、管理部門に係る設備投資額であります。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	ファイン製品部門	化成品部門	計			
減損損失	—	104	104	—	—	104

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	ファイン製品部門	化成品部門	計			
減損損失	4	11	15	—	—	15

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,115.69 円	4,292.82円
1株当たり当期純利益	196.45 円	320.60円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(百万円)	960	1,568
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	960	1,568
普通株式の期中平均株式数(株)	4,891,521	4,891,362

(重要な後発事象)

該当事項はありません。